

# 新たに鉄道コンテナ輸送サービスを行い 定時運行率の向上及び環境負荷の軽減に取り組みます

## 鉄道コンテナ輸送サービスとは

神戸港・大阪港を起点に、各港の自社施設で輸送に適したコンテナに積み替えを行い、JR貨物の輸送網に接続して特に首都圏近郊や日本海側、四国等への輸送に有効に利用可能です。また、輸入時のコンテナのまま（※）直接JR貨物の輸送網に接続することが可能な場合もあり、その場合は更にリードタイムを短縮できます。

※海上コンテナは鉄道設備上の理由から、輸送できる場所やコンテナサイズ・積載重量等に制限があります。



## トレーディア 鉄道コンテナ 輸送サービス



## 鉄道コンテナ輸送サービスのメリット

### 1. 安心、安全、確実

首都圏の道路混雑や日本海側の雪の影響を回避した輸送ルートを確認し、納品の定時制を向上します。また近年頻発する大規模災害時等のBCP（事業継続計画）対策としても、複数の輸送ルートを確認できます。

### 2. SEA&RAIL

海上コンテナやJRコンテナで輸入される貨物で、そのままJR貨物の輸送網に接続できる場合はリードタイムの大幅な短縮が可能です。また、積み替えのための輸送や作業も不要になり、納期遅延リスクも回避できます。

### 3. リードタイム・コスト削減

コンテナの輸送対策等で京浜港でコンテナ混載サービス（LCL）を積極的にご利用の場合、繁忙期に頻発するCFS搬入遅延を回避することができます。また、LCLで一定以上の貨物量を積載されている場合、長距離輸送でコストメリットが出る鉄道輸送に切り替えることで、物流コスト総額を抑えることができます。

### 4. 荷降ろし設備に応じたコンテナ機材の選択が可能

JRコンテナには、両側面が開くコンテナと、片側片妻開きのコンテナがあります。荷降ろし先設備、またお客様ご要望に応じて手配が可能です、プラットフォームがない荷降ろし先でもウィング車と同じように横から荷役をすることが可能です。



両側面開きタイプ（前後は開きません）



片側片妻タイプ（片側面は開きません）

### 5. モーダルシフト

鉄道は輸送単位当たりのCO2排出量がトラックの約11分の1と、様々な輸送機関の中でも環境負荷が少ない輸送手段です。トレーラーやトラックで長距離輸送をしている場合、大幅なCO2削減が見込めます。